

3. 豪雨・土砂災害の場合

—情報収集し、「備える」—

【台風に備える】

- ・ 台風は事前に予測できる自然災害。
- ・ 規模や襲来時間等の情報をチェック。

【集中豪雨に備える】

- ・ 集中豪雨は、狭い地域に突発的に降るため予測が困難。
- ・ 自分がいる場所の土地条件や環境などを把握し十分な対策を。

【土砂崩れに要注意】

- ・ 家の側に高さ 4m 以上のがけがある場合、不安があればすぐに避難する。

●土砂崩れの兆候

- ・ 雨がやんだのにいつまでもわき水がでる。
- ・ 斜面から小石や土がパラパラ落ちてくる。
- ・ わき水や溪流が急に濁る。
- ・ 斜面にひび割れができる。
- ・ 山鳴りがする。

※泥臭いにおいがしたら土石流にも注意！

【危険な場所から避難】

- ・高潮や浸水、土砂災害の発生しそうな場所には近づかない。
- ・危ないと感じたときは、近所の人と連絡を取りあいながら早めに避難をすること。
- ・避難方法や避難場所は事前に確認しておく。

【避難指示が出たら】

- ・テレビやラジオ等から最新情報を入手。
- ・一定の基準を超えると警戒レベルを用いた避難情報が発令され、報道機関や自治体、消防署、警察署から避難が呼びかけられるので、指示に従って避難する。

警戒レベル3：高齢者等避難開始

高齢者等以外の人にも必要に応じ普段の行動を見合わせたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

警戒レベル4：避難指示

必ず危険な場所から全員避難してください。

(警戒レベル5 緊急安全確保の発令を待ってはいけません)

警戒レベル5：緊急安全確保

すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。

※市町村が災害の状況を確実に把握できるものでない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。